

## けんぱくものしりシート

ひやく まん べん  
百 万 遍ひやくまんべん ようす  
百万遍の様子ひやくまんべん  
百万遍の  
じゅず  
数珠

これはひやくまんべん つか じゅず  
百万遍で使う数珠で  
す。なんぼん  
何本もあるかのように見え  
ますが、じつ ほん  
実はたった1本です。

しんせきや村の人々が集まっ  
て、ねんぶつ とお  
念仏を唱えながらこの大き  
なじゅず ぎょうじ ひやくまんべん  
数珠をまわす 行事を百万遍  
といいます。な ひと せん  
亡くなった人や先  
ぞ くよう しご こうふく いの  
祖を供養（死後の幸福を祈るこ  
と）するため、または、むら だん  
村に伝  
染病がはい  
染病が入ってこないようにな  
どのねが ちいき ひとびと  
願いをこめて、地域の人々

とともに祈りをささげました。

1331（元弘元）年、大地震がもとで都に病気がはやりました。後醍醐天皇のいいつけにより京都の知恩寺のお坊さんたちが七日七夜にわたって百万遍を行ったところ、はやり病をはずめることができました。そのため天皇から知恩寺へ百万遍の呼び名がほうびとして与えられ「百万遍知恩寺」（「萬」は万の古い字）という名前になりました。今でも知恩寺は「百万遍さん」と地元で呼ばれ親しまれています<sup>(1)</sup>。

百万遍は全国に広まり、岩手県でも行われていましたが、現在ではごくわずかな地域でしか見られなくなりました。今でも続けられている雫石町横欠地区の百万遍の様子をみてみましょう。



写真① かね  
さんこう よこがけ  
 (参考：横欠  
こうみんかんしよぞう  
 公民館所蔵)

よこがけ ちく ひと な ひやくまんべん おこな  
 横欠地区では人が亡くなったとき 百万遍を行いま  
 す。よる じ ころ、な 亡くなった人の自宅に 住民が集まりま  
 す。じゆず わ なか かね (写真①) を鳴らして音頭を  
 とる人が座って、他の人は数珠を囲んで大きな輪になり、  
 かねに合わせて念仏を唱え数珠をまわします。数珠には  
 ひとつだけ大玉があり、それが目の前に来たら頭の上

にかかけおじぎします。よこがけ ちく おおだま な む あ み だ ぶ つ も じ  
 横欠地区の大玉には「南無阿弥陀仏」という文字がほ  
 られていて、な 亡くなった人の名前や年齢などを書  
 いたさんかくけい ちい ぬの 小さな布がつけられています (写真  
 ②)。な 亡くなってから ねんかん ぬの 33年間は布をつけたままに  
 して ひやくまんべん いっしょ く よう 百万遍のたび一緒に供養します。



写真② 数珠  
さんこう よこがけこうみんかんしよぞう  
 (参考：横欠公民館所蔵)

じゆず  
 数珠をまたいではいけません。またぐと、あの  
 よ 世につれていかれるといえます。もしもまちがっ  
 てまたいだときは、あたま じゆず かい 頭から数珠を3回くぐるとな  
 かったことになるそうです。

ねんぶつ お いえ ひと ちゃ かし  
 念仏が終わったら、家の人からお茶とお菓子の  
 う ばいちゃ わる もてなしを受けます。「1杯茶は、えんぎが悪い」

かなら ちゃ ちゃ かし  
 といわれているため 必ずお茶のおかわりをいただきます。お茶とお菓子をご  
 ちそうになったら、その日は終了です。これを3日間くりかえしますが、か  
 つては7日間行っていたそうです。

引用・参考 (1) 浄土宗大本山百万遍知恩寺ホームページ <http://chionji.jp> / 岩手県立博物館 1998年『これな  
 あに？民俗-26 百万遍の数珠』 / 岩手県立博物館 1991年 『岩手民間信仰事典』 他

- 「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



モッチャン

岩手県立博物館  
 〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
 Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214

岩手県立博物館 検索

HPIにてバックナンバー公開中！

# けんぱくものしりシート 『百万遍』

2024年4月発行 民俗—No.28

## ■引用文献

(1) 浄土宗大本山百萬遍知恩寺 公式ホームページ『京都 百万遍知恩寺の歴史』

<http://chionji.jp>

## ■参考文献

岩手県立博物館 1998年『これなあに？ 民俗-26 百万遍の数珠』

岩手県立博物館 1991年『岩手民間信仰事典』

松野純孝 他 1976年『佛教行事とその思想』